

# 公共政策学の基礎

～政策形成に向けて～

法学部法律学科2年 高島洋和

# 今回の勉強会の目的

政策弁論や研究の政策を作るうえでどのように政策を考えていけば良いのか、  
よりよい政策とは何なのか、

その考え方を公共政策学から提供する。

# ～目次～

- 1、初めに
- 2、公共政策とは何か
- 3、歴史と失敗
- 4、政策形成に向けて
- 5、終わりに
- 6、参考文献

# 1、初めに

- ・現代は複雑な社会である。単に「問題」の「解決」と言っても単純に解決できる社会問題は少ない……  
どうすれば良い政策を作れるのか？



それを考える学問が公共政策学である

## 2、公共政策とは何か

～6～

## 2、公共政策学とは何か

- 公共政策学

公共政策(public policy)を取り扱う学問

ex, 政策学等

### 「公共政策」とは？

➡➡➡ 「社会全体或いはその特定部分の利害を反映した何らかの公共的問題について、社会が集团的に或いは社会の合法的な代表者がとる行動指針」

## 2、公共政策学とは何か ～様々な問題～

- ・私的问题→→私たちが日常で抱えている様々な個人の問題  
ex,お金がない等
- ・公共的问题→→個人では解決できなく、社会で解決されるべきだと  
された問題  
ex,貧困問題



## 2、公共政策とは何か ～4つの構成要素～

① 目的・・・公共政策の実施によってどのような状態を目指すか

弁論でいえば・・・

- ・ どのような理念を持ち、どのような理想社会を目指すのか  
を定める。

## 2、公共政策とは何か ～4つの構成要素～

- ▶ ②対象・・・公共政策の目的達成のためにどのような人々を対象にするのか

弁論でいえば・・・

- ・ どのような人々を救いたいのか  
を定める

## 2、公共政策とは何か ～4つの構成要素～

▶ ③手段..目的を達成するための具体的な行動案

▶ 弁論でいえば..

・ 政策、解決策

のこと

## 2、公共政策とは何か ～5つの構成要素～

- ▶ ④権限..政府の目的達成のための手段には法による権限はあるか

弁論でいえば..

- ・その解決策を行うには正当性があるか

## 2、公共政策とは何か ～5つの構成要素～

- ▶ ⑤財源・・・目的達成のための手段を行うには資金が必要

弁論でいえば・・・

- ・その解決策を行うには財源はどうするのか

～ 1 3 ～

# 3、歴史と失敗

### 3、歴史と失敗 ～ラスウェルの公共政策学～



- ・ハロルド・ラスウェル(1902～1978)
- ・アメリカ合衆国の政治学者、主にイェール大学で教鞭をとった。
- ・「公共政策学」という学問の分野を創出した第一人者。

### 3、歴史と失敗

#### ～ラスウェルの公共政策学～

- ▶ 社会が抱える複雑な問題にどのように取り組むか？



学問の共同作業を行う

- ・ 公共政策学を「社会における政策形成過程を解明し、政策問題についての合理的判断に必要な知識を提供する科学」と定義。



### 3、歴史と失敗 ～初期の公共政策学～

[ではどうやって政策を作っていくべきか？]

- ・ 社会、自然科学者等の専門家達が中心となって政策形成を行っていくべき。
- ・ 専門家達の知識により最適な政策を作ることができる。  
(様々な学問の専門家達が集まればより良い政策ができる)

### 3、歴史と失敗 ～アメリカの例～

▶ ・偉大なる社会構想

・・貧困問題や人種差別など多様な

政策を打ち出し、多くの専門家たちが動員されて政策形成がされていった。



しかし、これらは黒人の権利や貧困等の問題が解決されず、多くが失敗に終わった。

### 3、歴史と失敗 ～初期の失敗の批判～

②悪構造の問題・・・ある1つの社会問題の原因を特定するのが困難であり、解決策が容易に作れない。



社会問題には4つの悪構造がある。

### 3、歴史と失敗 ～悪構造①～

#### ▶ 社会問題の4つの悪構造

①全体性・個別の社会問題は他の問題と相互に関連している

ex.男女共同参画の問題



- ・1980年代から女性の社会進出が進められ、総合職に多くの女性を採用したが保育所等の福祉面での制度整備が不十分だったから出産を理由に退職する女性も多かった。

・雇用だけではなく、福祉の対策も必要

～20～

### 3、歴史と失敗

#### ～悪構造②～

②相反性・・・1つの社会問題への解決策が他の問題の悪化に繋がる可能性が高いこと。

ex. 経済発展と環境保全



- ・ 経済の発展のために重工業化を進め、生産活動を活発化させるが、それによって環境は破壊されてしまう。

経済発展だけでなく、環境の配慮も必要。

### 3、歴史と失敗

#### ～初期の失敗への批判～

- ▶ ③主観性..ある1つの社会問題をどう定義するかは人によって違う。

ex.派遣労働者の雇用問題



- ・金融危機等で企業の業績が悪化してそこの派遣労働者達が解雇された。

これを企業の責任と言う人もいれば、労働者の自己責任と言う人もいる。

多様な立場からの多様な意見がある。

～ 2 2 ～

## 4、歴史と失敗 ～悪構造④～

- ▶ ④動態性..社会問題の構造は常に決まっているわけではなく、時間とともに構造や要因は変化する  
ex.地域観光振興の問題



観光客を呼び込むため、交通アクセスを強化したが  
現在はその観光地のコンテンツが重要となっているので  
それは意味がない。

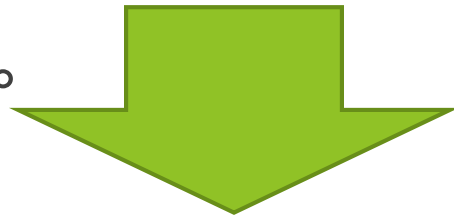
### 3、歴史と失敗 ～批判のまとめ～

・なぜ初期の方法ではこれらの問題に対応できなかったのか？

① 専門家だけが政策形成をおこなった

(市民はそこに関われなかった)

・主観性の問題から正しく問題の定義ができなかった。



市民も政策形成の場に参加することが重要視された

～24～



# 4、政策形成に向けて

## 4、政策形成に向けて ～新しい政策形成システム～

### ・参加型政策分析

#### ①新しい分析的問題解決プロセス

- ・専門的知識＋市民(政策により恩恵を受ける人)の「普通の知識」

#### ②政策作成者と市民との議論の場

- ・問題状況の正確な把握
- ・市民のニーズに合った政策
- ・専門家は助言を行う

～ 2 5 ～



終わりに

## 終わりに

- ▶ ・社会問題というのは複雑なものです。政策弁論や研究で政策を考えるうえでその問題の全体性、相反性、主観性、動態性を頭に入れながらなぜその政策が良いのかを何度も考えていく、そのことが政策を作る、または質疑応答の際にも役に立てるとおもいます。
- ▶ ・問題状況の正確な把握のために実際にその現場に行ってみる、外に出ましよう。

# 参考文献、資料

・ 秋吉貴雄、伊藤修一郎、北山俊哉(2016)『公共政策学の基礎』  
(有斐閣ブックス)

・ 足立幸男(2009)『公共政策学とはなにか』 (BASIC公共政策学)

・ 足立幸男、森脇俊雅(2003)『公共政策学』 (ミネルヴァ書房)

・

[http://ci.nii.ac.jp/els/110009675102.pdf?id=ART0010156028&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order\\_no=&ppv\\_type=0&lang\\_sw=&no=1467405747&cp=](http://ci.nii.ac.jp/els/110009675102.pdf?id=ART0010156028&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1467405747&cp=)

ありがとうございました  
＼(^o^)／オワツタ